

よ読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

国指定天然記念物「鯉が窪湿原」（新見市）の魅力を発信する「ときめき発見☆デジタルマップ」を、地元の哲西中1年生が作りました。記事を読んで質問に答えましょう。

Q1

みなさんが住んでいる地域の良いところを考えてみよう。

ていがくねん
低学年も
チャレンジ!

Q2

生徒はどんな思いでマップ作りを計画したのかな。「 」から抜き出そう。

国指定天然記念物「鯉が窪湿原」(新見市哲西町矢田)の魅力を発信しようと、地元の哲西中1年生14人が「ときめき発見☆デジタルマップ」を作成した。散策コースなどの案内に加え、添付した二次元コードを

読み取れば、湿原の花々のオリジナル紹介動画を見ることができる。市役所や市観光案内所などで配布中で「絵がかわいい」「訪れてみたくなった」と好評を得ている。民間財団のコンテストでも入賞を果たした。(船越元洋)

新見・哲西中1年生 デジタルマップ作成

完成したマップを披露する哲西中生徒



鯉が窪湿原の訪問者が近年減少傾向にあることを知った生徒が「希少な植物が豊富な湿原を盛り上げた」と、総合的な学習の「環境」としてマップ作りを計画。2025年7月に現地へ植物を撮影し、湿原を守る会(三上雄二会長)メンバーと自然の宝探しという写真映える場所や人気スポットを調査し、約4800歩の散策コースを計画。全図ととも「1周約2・4キロの散策はまるで自然の宝探し」というPR文を書き込み、写真映える場所や人気スポットを調査し、約4800歩の散策コースを計画。全図ととも「1周約2・4キロの散策はまるで自然の宝探し」というPR文を書き込み、写真映える場所や人気

4月に営業再開したら... 鯉が窪湿原 来てね

花を自作動画で紹介 散策コースや映えスポットも

動画は英語版を含め計44本作成。それぞれの草花にちなんだオリジナルキャラクターが特徴や見頃などを説明する内容で、生徒たちがキャラやせりふを考え、音声を吹き込んだ。一連の取り組みは独創性の高さなどが評価され、日清食品が運営する安藤スポーツ・食文化振興財団の「自然体験企画コンテスト2025」で「推奨モデル特別賞」と「ICT奨励賞」に輝いた。メンバーの井上敬康さん(13)は「みんなで力を合わせ、思わず手に取りたくなるマップができた」といい、野田唯奈さん(13)は「役立つ情報がいっぱい。湿原と新見市を訪れる人が増える助けになれば」と話している。鯉が窪湿原は現在冬季休業中で、営業再開は4月下旬の予定。生徒たちは老朽化した案内看板のリニューアルにも取り組み、学校と湿原までの間に、花のキャラクターをちりばめた手作り看板(縦40センチ、横70センチ)4枚を設置した。

2026年2月11日付、備中面

Q3

二次元コードを読み取ると、何を見ることが出来るかな。

- ①生徒たちの自己紹介
- ②地元の会社のPR動画
- ③湿原の花々のオリジナル紹介動画

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。